



あやめ



紫翠祭 成功裏に！

9月15日(金)・16日(土)に、生徒会年間最大行事である紫翠祭が行われました。

1日目の文化の部・2日目の体育の部共に快晴の下、両日とも無事に実施することができました。生徒たちは、68回目を数える「紫翠祭」を成功させるために、1学期から、生徒会本部を中心に、各実行委員会、各学年学級・各文化部がそれぞれの目標をもって取り組んできました。

文化の部の『合唱』については、本校での取り組みが30年を越えた「全校ハレルヤ」を、ここ数年のコロナ禍であっても、少しずつ少しずつ伝統の灯を絶やすことなく取り組みを続け、ついに今年度は人数制限をすることなく、体育館でのお披露目を実現できました。とは言っても、コロナ患者は全国的に漸増しているため、取り組みではコロナ対策をしつつ、1学期からパート練習・系列練習に取り組み、全校一丸となって取り組んできました。当日の演奏は迫力があり、全生徒の心が通い合った瞬間でもありました。また、クラス合唱でも各学級で熱心に取り組む様子が見られました。今年も、発表会形式にしてそれぞれの発表の良さを聴きあいました。どのクラスも自分達らしさを表現をしている姿が素敵でした。いずれのクラスも、本番ですばらしい発表をすることができたのではないのでしょうか。事前の合唱指導に来てくださった芦澤真一先生からも、成長の姿が見られると、お褒めの講評をいただきました。また、午前の部の部活動ステージ発表や、各学年展示や空き缶アート・部活動展示などの展示発表、テーマ「星絆」～煌け櫛中銀河～を表現した全校制作のステージバックも好評でした。

2日目の体育の部でも、各学年の競技で白熱した勝負が繰り広げられていたのではないのでしょうか。各クラスや系列の応援にも気合や気持ちがこもっており、まさに団結・協力という言葉そのもの。競技の形をとるからには勝敗はつきものなのですが、生徒達が全力で取り組み、クラスや学年の一員として一生懸命競技をする姿はとてすがすがしく、観ている人達に感動を与えてくれたのではないかと思います。

紫翠祭を終え、大きな一つの区切りができたと思います。ただし、ただよかったで終わることなく、責任を持つこと、協力することなど、この紫翠祭で得たものを、これからの学校生活で生かせるかどうかが大切なのだと思います。そしてそれができてこそ「本当の

意味」で紫翠祭が成功したと言えるのではないのでしょうか。

3年生は進路選択・卒業に向けて、1・2年生は3年生からバトンを引き継ぎ、新人大会や生徒会役員選挙など学校の中心となって、活躍することを期待します。

保護者の皆様には、2日間にわたって紫翠祭を参観していただき、ありがとうございました。2日間で延べ1,000人を超える方に参観していただきました。全生徒の日常活動の成果を観ていただけたことが、生徒達にとっても大きな励みになったことと思います。また、保護者の参観マナーの良さが生徒達への良いお手本ともなりました。今後も本校の教育活動へのご理解、ご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

(1日目) 開祭式・文化の部など





(2日目) 体育の部・開祭式など



3年生は進路実現に向け本格始動!

いよいよ来月10月の教達検（教育課程到達度確認検査）を皮切りに、本格的に受験シーズンに突入します。既に、全県で行われる山梨県進路希望調査を、本校では紫翠祭取組中に行いました。

3年生は、現在基礎学力の確認のために学習会などを企画中です。是非とも、希望の進路実現に向けてみんなで努力を重ねていてもらいたいです。

ところで、時折「勉強の仕方が分からない」とか「一生懸命やったのに結果が悪い」という声を聞くことがあります。では、あなたはどれだけの勉強方法を実際に試してみましたか（始めましたか）。続ければ必ず力がつくと信じて、毎日勉強を続けていますか。<努力するものは希望を語り、努力を怠るものは不平を語る。>といいます。やるべきことをやらないで、不平や愚痴を言うのではなく、まずは始めること、続けること。**あなたを変えることができるのはあなた自身だけなのです。**みなさんの進路希望は、決して実現不可能なものではありません。自分の可能性を信じて頑張りましょう。

努力しても結果がついてこないような辛いときに思い出してほしい言葉、世界最高峰のサッカー選手の一人であるリオネル・メッシが語った言葉を今年も贈ります。

**努力すれば報われる？
そうじゃないだろ。
報われるまで努力するんだ。**

(学校だより「あやめ」2022年第12号より再掲、一部改)

お知らせ) 中巨摩新人大会に向けて! 激励会があります

10月6日(金) 14:35から、中巨摩新人大会に向けての激励会があります。保護者の皆様にも参観して頂きますよう、よろしくお願い致します。

3年生からバトンを引き継ぎ、2年生中心の部活動体制になって初めて迎える公式大会ということになります。早いところでは1学期後半から、遅くは夏休み以降のチーム立ち上げとなりました。朝練・午後練、土日の練習や練習試合と、新人大会を目標に頑張ってきました。激励会では、そんな各部の意気込みが感じられることでしょう。